若手SEのための合意形成の基礎（4119188）

関係者が同じ土俵に乗り、納得感を得ながら合意形成を進めていくための 「関係者の頭の中を整理して、議論できる状態に持っていくための手法」「結論の選択を促すための手法」を理解し、演習やケースを題材とした体験実践を通して体得することを目指します。

開催日時	2019年4月23日(火) 10:00-17:00
カテゴリー	業務遂行スキル ヒューマンスキル
講師	寺池光弘 氏 （デロイトトーマツリスクアドバイザリー株式会社　シニアコンサルタント ） ・独立系ＳＩｅｒにて、システム開発・保守・運用、コンサルティングおよび人材開発に従事。 2021年4月より現職。 ・名古屋大学卒、英国レスター大学MBA。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	業務経験数年の若手メンバー（情報システム部門・情報システム子会社、SIer等） 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

<<受講者の声>>

●100か0しか答えはないと思っていた。妥結案を考える訓練になった。
●今まで使ったことのない手法を学べてよかった。また、マインドも非常に大切であるというのも初めて知り、
　多くの気づきを得ることができた研修だった。
●普段の業務にてユーザー部門との意見交換やヒアリング、要件定義といった場面で活用するスキルであり、大変役立った。
●グループワークがあり目に見えて分かりやすかった。明日から実践できそうな内容だったので実践したい。
●明日から使用できそうなツールやロジックの紹介がありよかった。
●合意形成は自身にとっての苦手分野であったが、講義と演習を通してコツをつかむことができた。
●過去にうまくいかなかった体験の改善について、他社の方と検討できた。全く違う環境の方の意見がきけて良かった。

大事な会議、日々のちょっとしたミーティング。。。こんなことはありませんか？

・議論が空中戦になってしまう
・議論がかみ合わない
・問題解決のための合意形成が進まない

本コースでは、関係者が同じ土俵に乗り、納得感を得ながら合意形成を進めていくための

・関係者の頭の中を整理して、議論できる状態に持っていくための手法
・結論の選択を促すための手法

を理解し、演習やケースを題材とした体験実践を通して体得することを目指します。

ミーティングの生産性を上げたい、よりよい議論と合意形成を行いたい若手の方（会議を進める側、会議中に参加する側のどちらの立場でも有効です）におすすめのコースです。

<<特徴>>

「分かる」だけでなく「出来る」を目指すために・・

・研修スタイル＞＞＞受講者参加型（講師からの問いかけ、グループ討議、全体討議・ナレッジ共有）

・業務への適用イメージを持てるように、振り返りの場を多く設定し、気付きを与えます

・実際の業務で頻出するシーンである「運用業務の効率化」などを題材に発言例を交えて演習。
実践的な力が身につきます。

<<内容>>

(1) はじめに（Ｗｈｙ）

・受講目的（必要性）の再確認

・現状の振り返り

(2) 合意形成の基本（Ｗｈａｔ）

・合意形成の５箇条（フォレットの統合の概念）

①自分の考えを強引に正当化することを避ける

②議論に勝ち負けはない

③根拠があいまいなまま合意しない

④妥協や取引手段を採らない

⑤お互いの相違点を明確にする

・論理的に議論するための基本手法

「要約する」「確認する」「分解する」「結合する」「構造化する」

(3) ケースを題材とした体験実践と相互フィードバック（Ｈｏｗ）

・演習

①あいまいな表現を指摘し、具体的な内容に落とし込む

②長い発言を指摘し、分かり易く要約する

③あいまいなテーマを個別テーマに落とし込み、議論し易くする

④運用業務の効率化に関するグループメンバーからの意見のとりまとめ

⑤総合演習：コンセンサスゲーム　※チェックシートによる相互フィードバックあり

(4) 振り返り・全体Ｑ＆Ａ

・現場で意識的に実践するためのアクションプラン

<<他の若手SEシリーズはこちら>>

◆入門編 2019年5月開催

◆入門編 2019年10月開催

◆プロセス分析編 2019年6月開催

◆合意形成の基礎編 2019年4月開催

◆ライティング編 2019年7月開催

☒　◆ライティング編 2019年12月開催